

演劇鑑賞 富良野バスツアーのご案内

日時 令和5年12月11日(月)17時20分出発
!日高地区住民のエキストラ出演決定!

内容 富良野GROUP【悲別2023】観劇

定員 先着20名(日高町在住在勤者・定員に達し次第締切)

参加費(鑑賞料・バス代込)

大人3,000円

(通常 鑑賞料5,500円)

小中学生1,000円

(通常 鑑賞料2,000円)

日程(夕食は各自・事前にお取り下さい)

17時20分 道の駅「樹海ロード日高」出発

18時30分 富良野演劇工場着

19時~21時 観劇

21時10分 富良野演劇工場発

22時20分 道の駅「樹海ロード日高」到着

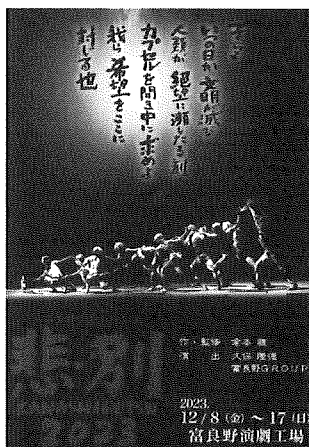
申込先 日高町文化協会日高支部事務局 高橋

自宅 FAX01457-6-3630/携帯TEL090-7516-8196

倉本聰の名作『悲別』が10年ぶりに復活!
全国からオーディションで選ばれた出演者とともに
いよいよ富良野GROUPが再始動!

2010年に富良野塾が開塾して早14年。卒業して富良野に残ったOBも、既に40、50という歳になった。気づけば僕自身も、初めて出会った頃の阿匠と同じ年齢になっている。この間、僕らは富良野GROUPとして、師匠とともに10本もの作品を創り上げてきた。これらの作品をどう継承し、次の世代に渡していくのか。その想いのもと、今回新たにキャストオーディションを実施。富良野GROUP再始動の第一弾として『悲別2023』に挑む。令和の時代に頼れるものは何なのか。富良野塾・倉本イズムを受け継いでくれるであろう若者たちと共に、僕自身もその答えを見つけていきたい。

久保 隆徳



【あらすじ】

炭坑の町、悲別。

閉山が決まったその夜、組合長・野中平吉が自殺した。平吉は死の直前、炭坑夫だった息子のジンにこう語る「昔、かつての坑夫たちが、今では閉鎖された旧坑道の地下300メートルに、タイムカプセルを埋めた。その中には『希望』が入っている。いつかそのタイムカプセルを探してこらん」と。ジンとその仲間たちは30年後、2023年の大晦日に再会して一緒にタイムカプセルを探そうと約束し、一人、また一人と悲別から去っていった。

30年後、すっかり変わり果て死んだようになった悲別。長い年月は若者たちを変えてしまっている。ある者は懸命にふるさとにしがみつき空しい町おこしに励み、ある者は福島原発労働者となり、またある者は原発汚染の瓦礫を引き受け、廃坑の地下に石棺に入れて閉じ込めようと策している。300メートルの地下に希望があり、さらにその地底の奥底に、今絶望を埋めようとしている悲別。

約束の大晦日、結局集まったのはジンと町会議員となった江口の2人に、その情報を聞きつけ取材に来た新聞記者だった。それぞれの思惑を胸に、3人は立入禁止となっている旧坑道に「希望」という名のタイムカプセルを探し求め、地底へと入り込んで行く...

富良野GROUPとは・・・

倉本聰が主宰する“富良野塾”を卒業し、研鑽を重ねた俳優とライター集団。

原型となった“富良野塾”は、プロの脚本家と役者を養成するべく富良野の山間に倉本が開塾した私塾で、塾生は自然と共生しながら2年間の合宿生活を過ごし、“創作”に対する多くのことを学んだ。26年間で375名の卒業生を輩出。卒業生の多くは現在も舞台や映像の現場などで良質な仕事に携わっている。2010年春、富良野塾は閉塾したが、現在は表現者のプロ集団としてさらなる高みを目指し、日々精進している。今後は外部からも志の高い俳優やスタッフを迎え、創作意欲を益々高め合うことを目指している。

主催 日高町文化協会日高支部/後援 日高町教育委員会